



サイバー空間の脅威の情勢



極めて深刻！！

『令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢』
を警察庁ウェブサイトにおいて公表しました。



https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R04_cyber_jousei.pdf

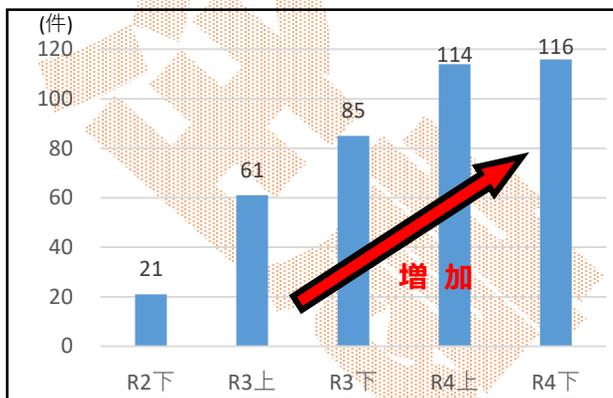
1 ランサムウェアの感染被害が拡大

【情勢】

- ▶令和2年下半期以降、右肩上がり増加中
- ▶VPN機器等からの侵入が多数
- ▶企業・団体等の規模や業種を問わず広範に発生
- ▶復旧に2ヶ月以上の期間や5,000万円以上を要した被害も発生

【対策】

- ▶機器等の脆弱性対策（パッチ等の適用）
- ▶バックアップデータをオフラインで保管



[ランサムウェアの被害の報告件数]

2 インターネットバンキングに係る不正送金事案が増加

【情勢】

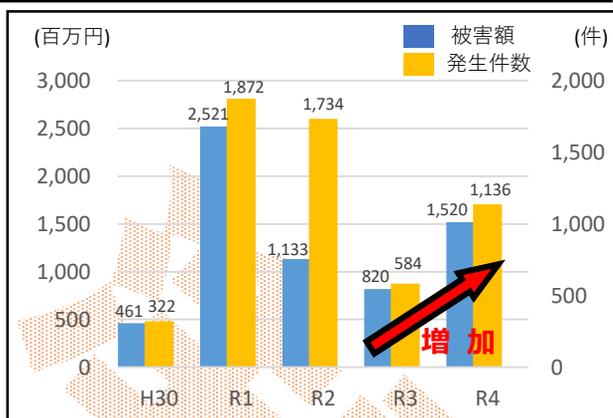
- ▶発生件数、被害額が前年より増加
- ▶被害の多くがフィッシングによるものとみられる

【対策（個人向け）】

- ▶OS、ソフトウェア等の更新
- ▶ワンタイムパスワード等の活用
- ▶メール等のリンクは容易にクリックしない

【対策（企業向け）】

- ▶DMARC（※）の導入
- ※ なりすましメール対策技術



[インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数・被害額]

3 我が国に対するサイバー攻撃が相次いで判明

北朝鮮のサイバー攻撃グループによる国内の暗号資産関連事業者に対するサイバー攻撃や学術関係者・シンクタンク研究員等に対する標的型メールによるサイバー攻撃が発生